

国際度量衡中央事務局分担金

令和6年度概算要求額 1.8億円（1.6億円）

事業の内容
事業目的 メートル条約に基づき設立された国際度量衡中央事務局(以下「BIPM」)の活動に必要な経費のうち、正加盟国である日本に課せられた分担金を負担することによって、BIPMから計量標準の供給、国家計量標準の校正を受けることを目的とする。
事業概要 BIPMとは、メートル条約に基づき設立されたものづくりの基盤技術となる計量標準について、各加盟国の計量標準の精度の同等性を保証する国際機関。分担金を負担することで、加盟国間の計量単位の国際的統一及び計量標準の同等性の確保を図り、それにより、物資、技術等の輸出入の円滑化や我が国における計量の国際的信頼性を確保する。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）
<pre>graph LR; A[国] -- 分担金 --> B[国際度量衡中央事務局 (BIPM)]</pre> The diagram illustrates the flow of contribution funds. On the left, a blue box contains the Japanese character for 'country' (国). A red arrow points from this box to the right, with the text '分担金' (Contribution Funds) written above it. On the right, a blue box contains the text '国際度量衡中央事務局 (BIPM)'.
成果目標 明治19年度からの事業であり、計量単位の国際的統一及び我が国を含む各国の計量標準の同等性の確保等を図ることで、我が国における計量の国際的な信頼性確保に寄与すること、また、我が国人材の知見、専門性を通じた国際度量衡中央事務局の活動の質の向上を目指す。